

0-5

内服管理に向けた内服薬管理フローシートの作成

○佐藤 晃子、菅沼 良恵、神馬 千登勢、鈴木 佳世子、小山 喜代美

獨協医科大学病院看護部

【目的】内服自己管理におけるインシデント報告から発生要因を明らかにし、内服薬管理フローシートを作成する。

【方法】A 大学病院において 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日に発生した内服薬自己管理に関するインシデント報告の発生要因を分析し、内服薬管理フローシートを作成した。

【結果】期間内の内服薬自己管理に関するインシデントは 176 件 (18.7%) であり、発生要因は「実施前後の確認・観察」、患者年齢は 70 歳代が最も多かった。視力や作業能力、服薬管理能力を評価し、管理方法を判断する内服薬フローシートを作成した。

【考察】インシデント発生要因から内服薬フローシートを作成したことは、未然にインシデントを防ぐ効果があると考えられる。

0-6

A 大学病院に勤務するクリニカルラダーレベルⅡ 修了者・認定者の職務満足調査

○江田 規栄子、水沼 由美子

獨協医科大学病院看護部

A 大学病院に勤務するラダーレベルⅡ修了者・認定者の職務満足を調査し、職務を継続している看護師が持つ職務満足について明らかにすることを目的とした。

研究対象者の基本属性、職務満足測定尺度 4 因子 28 項目を用いて質問紙を作成し、調査を行った。結果、基本属性と、職務満足測定尺度の 4 因子とでは有意差はみられず、職務満足を低下させる要因は明らかにならなかった。

部署の経験年数と第一因子「仕事に対する肯定的感情」で相関関係 ($r = -0.291$) にあった。

仕事に対する肯定的感情を高めるためには、看護師が患者に対し、質の高い看護ケアを提供しているという自信を持ち、専門知識と技術の提供ができるような支援が必要ではないかと考える。